令和３年５月３１日作成

**令和３年度四国高等学校剣道選手権大会**

**剣道専門部新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン**

　本専門部の主管大会における新型コロナウイルス感染対策を下記の通り定める。

**１　競技運営上の感染対策留意事項（各専門部にて運用方法の設定）**

**新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合審判法**

**（全日本剣道連盟）**

**（全国高体連剣道専門部）**

**【審判員と試合者が共通に理解する主な事項】**

１．試合者はつば（鍔）競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技及び体当たりからの技（発声を含む）を積極的に出す。つば（鍔）競り合いになった瞬間、技が出ない場合にはただちに積極的に分かれる。試合者は審判員の「分かれ」の宣告を待つのではなく試合者双方で分かれる努力をする。

２．意図的な時間空費や防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近するような行為は、規則第１条に則り反則を適用する。

３．試合者は、分かれる場合は主審の「分かれ」の宣告、あるいは試合者双方で分かれる場合にかかわらず、剣先が完全に触れない位置まで互いに分かれる。

４．分かれる場合は剣先を開いたり、下げて分かれない。

５．分かれる場合は双方がバラバラに下がらない。双方同じ気位で互いの鎬を削るようにして分かれる。

６．相互に分かれようとしている途中に技を出さない。この場合は技を出しても有効打突とはしない。一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突した場合や分かれようと見せかけて打突する行為は反則を適用する場合がある。また、分かれる途中に相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「逆交差」をしない。（審判員は状況や原因を踏まえた上で合議により判断する）

７．マスクとシールドの着用

マスクは、口鼻を隠し、正しく装着する。

シールドに関しては、口を覆うものは必須とし、目を覆うものは自由とする。

**本大会における新型コロナウイルス感染防止のための厳守事項**

**（高知県高体連剣道専門部）**

本大会はクラスターを発生させないために、例年の大会日程とは大きく異なり行われます。様々な場面でご協力をいただかなければ大会は成り立ちませんので、何卒ご理解の上、各校での適切な対応をお願い致します。

１．大会会場へ入館できる者は、役員・監督・顧問・外部指導者・登録選手・補助員のみとする

ただし、外部指導者については当該学校長の承認を得た者とし、指導については試合場外でのみ行い、試合場への入場は認めない（審判員は除く）

また、個人戦のみ１名で参加する学校については、試合前の稽古要員として１名の入館を許可（試合場への入場は不可）する。

　２．体育館内での待機時には密接・密集とならないよう、細心の注意を払うこと

　　　競技時以外は大声を出したり、極力不要な対話は避けること

食事については対面での食事を避け、黙食で行うこと

応援については拍手のみで行うこと

　３．各校更衣を済ませて来場すること

４．大会会場へ入館する者は、入り口で消毒と検温を行うこと

５．大会会場へ入館する者は、常時マスクを必ず着用すること

６．手指消毒等を行える消毒液を各校必ず持参し、適宜消毒を行うこと

７．会場への入場・ウォーミングアップについてはマスクを必ず着用し、密集とならないよう注意し実施すること

８．開始式は密集とならないよう、各校試合場内・観客席の待機した場所で簡潔に行う。ただし、令和元年度優勝校（男子：帝京第五高等学校、女子：帝京第五高等学校）については、返還があるため試合場の指定された場所で待機すること。

９．試合順序については以下のとおりとする

　　１日目

　　　女子団体試合→女子個人戦→終了後表彰式（入賞校・入賞者以外は敗退後極力帰宅する）

　　２日目

　　　男子団体試合→男子個人戦→終了後表彰式（入賞校・入賞者以外は敗退後極力帰宅する）

10．試合を行わない選手は、体育館ロビー、メインアリーナ（試合場外）、サブアリーナ、観客席で密接・密集・密閉を避け待機すること（その際必ずマスクを着用する）

　　ただし、メインアリーナ、サブアリーナ以外の場所での素振りは禁止する

11．試合はマウスシールド及びマスクを必ず着用し行う（審判はマスクのみ）

12．閉会式は行わない

　　試合の終了した者（入賞校・入賞者除く）は極力すみやかに帰宅すること

13．個人決勝戦終了後、直ちに表彰式を行う（入賞校・入賞者のみ）

14．表彰式終了後、素早く館外へでること

15．その他、競技役員の指示に従うこと